

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	宇都宮市子ども発達センター若葉園				
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		～		令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)		4
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～		令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)		2
○訪問先施設評価実施期間	令和6年9月1日		～		令和7年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5	(回答数)		5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日				

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験豊富な訪問支援員による支援	・訪問先施設職員に対して、若葉園（障がい児通所支援施設）で使用している絵カードやタイムタイマー等の視覚支援教材の情報提供をしている。	・他事業所を利用しているお子さんについて、事業所間の連携を図り、お子さんについての情報を共有することで、支援内容の充実を図っていく。
2	・多職種による専門的な支援	・保育士がメインで訪問しているが、お子さんの発達状況により、子ども発達センター内の専門職が訪問に同行している	・専門職が同行した際のフィードバックを、直接訪問園などに口頭で伝えていたが、書面等で報告していく。 ・お子さんの発達状況を正確に把握するために、専門職と一緒に初回の同行を行ったり、支援員が評価した内容を専門職と共有し支援の方向性について助言をいただく。
3	・保育所等訪問支援を実施している事業所同士の連携	・児童発達支援センターとして「保育所等訪問支援事業担当者情報交換会」を毎年開催し、事業の課題等について共有するほか、困難ケースに関する事例検討を行うなど、支援の質の向上を図っている。	・事業の新たな周知先として、放課後児童クラブに対して事業内容等について説明を行い、事業の理解及び利用の促進を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業所との連携	・一人の児童に関わる複数の事業所同士が、支援内容などについて共有する機会がない。	・他事業所を利用しているお子さんについて、事業所間の連携を図り、お子さんについての情報を共有することで、支援内容の充実を図っていく。
2	・保護者への情報提供	・家族が参加できる研修などについて、十分な情報を提供できていない。 ・支援内容の詳細等について口頭での報告となっている。	・家族が参加できる支援プログラムや研修等について積極的に情報提供する。 ・訪問支援の際に使用した教材等について、電子連絡帳を活用し、写真や実物を見せる機会を設けていく。
3			